

日本衛星ビジネス協会は9月29日(木)、海上自衛隊横須賀基地にて、今年度第1回目となる施設見学会を開催しました。当日は会員33名が参加し、海上自衛隊第1護衛隊群所属の護衛艦「ひゅうが」の見学を行いました。



「ひゅうが」は、2009年3月18日に就役した、海上自衛隊初の全通甲板を有するヘリコプター搭載護衛艦です。全長197m、全幅33m、基準排水量13,500tの大型艦ですが、100,000馬力の機関により、速力30kt (55km/h)を誇ります。

見学会では、まず初めに護衛艦「ひゅうが」副長 黒木浩二二等海佐様より、『東日本大震災における海自の災害派遣活動状況』というタイトルで、ご講話いただきました。

第1護衛隊群を含む海上自衛隊の各部隊は、震災発生から2時間後には出港し、捜索救難活動や被災者の方々への生活支援を実施されました。その中でも「ひゅうが」は、ヘリコプター搭載艦としての機動力を遺憾なく発揮し、被災者の捜索・救助、救援物資の搬送などで活躍した他、被災者の入浴支援を実施されました。また、近代化された情報関連装備を駆使し、洋上における指揮中枢として、また、巨大な飛行甲板を利用し、様々なヘリコプターを運用し、被災地支援のハブとして大活躍されました。



ご講話の後、「ひゅうが」の艦内を見学させていただきました。

日頃、眼にすることのない、護衛艦の艦橋内やヘリコプターの格納庫なども拝見でき、貴重な経験ができました。また、艦載の衛星通信設備についても説明いただきました。





今回は、従来までの施設見学とは少し趣を変え、衛星利用の現場に焦点をあてたテーマと致しましたが、参加いただいた皆様からは、ご好評をいただきました。

ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。